

**桐生市立小中学校適正規模・適正配置基本方針に関する地域住民説明会
(清流中学校区) の概要について**

○日 時 令和 5 年 8 月 23 日 (水) 午後 3 時～午後 4 時 3 分

○場 所 東公民館 講堂

○参加者 【地域住民】 24 名 【報道機関】 なし

○質疑応答

・意見や質疑応答は、以下のとおり。

発 言 者	発 言 内 容
地域住民	<p>菱地区の桐陽台の町会長です。今、この資料を見させていただいて、統廃合になると、地域にもよると思うんですけども、通学時間が大分かかるような地域があるように見受けられます。公共交通機関とかスクールバスという話がありましたが、そこら辺のことは、ある程度、具体的な話はございますか。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>ご指摘のとおり、仮に統廃合が進んだ場合には、通学距離の延長、通学範囲の拡大ということになりますので、当然通学時間に影響がございます。また、具体的にどのような組合せになるかということがありませんので、仮に枠組みが決まりましたら、通学環境の安全の確保も含めた統合等に向けた準備が必要になりますので、通学環境等について十分調査しまして、まずは、子どもたちの通学環境の安全確保、そして保護者の皆様の通学に関する負担の軽減を目指しまして、準備をさせていただきたいと考えております。</p> <p>ある程度一定の枠組みが決まらないと、具体的な内容は申し上げられない状態ではありますが、十分配慮させていただきますので、ご理解いただければと思います。</p>
地域住民	<p>菱三丁目の町会長しております。人口減少で学校の統廃合が起こるだろうということは、個人的にはもうだいぶ前からなるだろうかと予測はしていましたが、実際に統廃合になった時に先ほど話がありましたように、通学時間はかなりかかるようになりますし、実際に 15 分から 30 分で通学をするというふうになった場合は、その学校区域の自治会の方での交通安全パトロールだとかの強化は、これから先、重要になると思うんですね。</p> <p>ただ、コロナ禍の中で、特に東京など大都市を中心として在宅ワークという部分が増えたわけじゃないですか。それに伴ってオンライン授業を進める学校も増えてきているわけですね。また、先日ニュースがありましたけど、現在のネットワーク環境よりも、NTT の通信環境が良くなるのではないかということで、レスポンスの問題もなくなってくるとは思いますので、そういった ICT の活用によって、ある程度通学で負荷がかかりすぎるといったような児童への対応を検討していく必要があるのではないのかなと思うんですね。</p> <p>人口が減ったとしても桐生市の物理的な広さというものが縮まるわけではありませぬので、少ない生徒さんの分布はかなりまばらになると思いま</p>

発言者	発言内容
	<p>すので、そうなってくるとやはり通学の負荷が大きくなります。</p> <p>ネットワークで行った場合は、その人間関係という部分をどのように作り上げるのか、指導していくのかということが課題にはなると思いますが、世の中はどんどん進んでいきますので、通学をするという前提ではなくて通学をしなくても同じ授業が受けられるというようなことを合わせて検討する必要があるのではないのかなというふうに思いますが、いかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>今、お話いただきましたように、ここ数年で、学校等を含めた ICT の教育が非常に進められてきているところでございます。学校では、子供に 1 人 1 台のタブレットの端末が配られまして、日々の授業等も工夫されて行われているところでございます。</p> <p>ICT の活用につきましては、将来的に、しっかりと進めていかななくてはならない重要な案件であると考えております。一方で、その学校の存在ということを考えますと、子供と子供同士が触れ合い、そして人と触れ合うことによって得られる人との温かみ、そういった感覚を大事にしていかななくてはならないと考えております。</p> <p>そうしますと、この ICT と実際に人と人が触れ合って学習するという両面をしっかりと確保していくということが今後大事なことかなと思しますので、今いただきましたご意見等も含めまして、今後、検討をさせていただきたいと思っております。</p>
<p>地域住民</p>	<p>確かに、そのネットワークだけの教育という部分だと、やはり欠落する部分は必ずあると思うんですよね。ですから、どちらか一方ということではなくてお互いにフォローするような環境が用意できていれば、ネットワークを使うことによって同じ質のものを受けるということもできるわけでしょうから、今後、世の中どんどんどんどん変わっていくと思うんですよね。</p> <p>令和 20 年、令和 30 年の頃には、おそらく今よりも大幅に変化をするでしょうから、そういうこともある程度見越してやっていただけると良いかなと思っております。</p>
<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>いただきましたご意見については、今後、検討させていただきたいと思っております。</p>
<p>地域住民</p>	<p>10 区区長代理です。このデータを見ますと、もう統廃合をやむなしですね。先ほど意見がございましたけれども、初等教育というのは、やはり対面教育あるいは子供たちとのコミュニケーションが必要だと思うので、先ほどの意見ではなく、現時点で、適正化はやらないといけないんじゃないか。</p> <p>それに関しまして、色々な組合せを考えていますけれども、その統廃合した時に基幹校と言いますか、その元になる学校というのは、今の学校の場所に置くのか、あるいは新たにその建物を建ててやるのか、その辺ちょっとお伺いしたいです。</p>

発言者	発言内容
事務局 (教育未来室長)	<p>今後、統合等があった場合ですが、現状、新しい土地に学校を新設することは難しいと考えております。学校の設置につきましては、それぞれの地域的な条件であったり、児童生徒数であったり、施設の状況等様々なことを考えながら決定される問題でありますので、色々なご意見いただき、検討組織の中で検討していただきながら、決定させていただきたいと考えております。</p> <p>ただ、いくつかの学校が全部集まることのできるような大きな土地を確保して新設することは、現状の見通しとしては厳しいのではないかと考えておりますので、ご理解いただければと思います。</p>
地域住民	<p>7区で副区長をしております。私が説明を聞き逃したのかと思いますが、児童生徒数がどのようになったら複式学級が発生するのか教えていただければと思います。</p>
事務局 (学校教育課長)	<p>複式学級になる数については、県の基準で人数が決まっております、小学校1年生が絡む場合は8名以下ですので、例えば、1年生と2年生では複式学級になる場合は8名以下です。その他の学年につきましては、16名以下ですので、例えば、2年生と3年生では複式学級になる場合は16名以下です。そのため、17名になると複式学級が解除されることとなります。8名と16名という人数が1つの鍵となります。</p>
地域住民	<p>今、お話を聞いていた中でちょっとよく分からなかったのが、検討組織の発足についてですけれども、具体的には教育委員会がその検討組織を作りなさいという指示になるのか、中学校区が手を挙げるということになるのか、それがよく分からなかった1点です。</p> <p>市全体で一遍に立ち上げるわけではなくて、中学校区の単位というように聞こえたのですけれども、検討委員会で協議されて、最終的に教育委員会に要望として上げるわけですね。その要望は、その中学校区についての要望だと思えるのですが、それによって他の中学校区に少なくなったり多くなったりという影響が出てきて、そちらの方も立ち上げなくちゃいけないということが起きて、アンバランスな立ち上がり方になることがあるのではないかなという気がしました。そこら辺は私の見方が間違っているのでしょうか。よく分からなかったので、教えていただきたい。</p>
事務局 (教育未来室長)	<p>先ほどご説明しました検討委員会の設置条件に該当した場合は、教育委員会の方から、該当する中学校区の小学校及び中学校の校長先生に検討委員会設立の通知を送付し、各学校長は、委員の選定を行っていただくこととなりますので、教育委員会からの連絡から始まるということとなります。</p> <p>そして、市内の他の小中学校におきましても、小規模化が進んでおりまして、黒保根学園校区以外の9つの中学校区につきましては、ほぼ同時期に検討委員会を設置していただくことになるものと考えております。</p> <p>そうすると、検討委員会は、ほぼ全ての学校区に立ち上がりますので、各検討委員会で検討し、必要に応じ地域協議会において他の中学校区と一緒に検討していただいた結果を要望書として教育委員会に提出していただ</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>くこととなります。</p> <p>そのため、適正化に向けた検討は、各中学校区でほぼ同時期に始まると捉えていただければと思います。</p>